

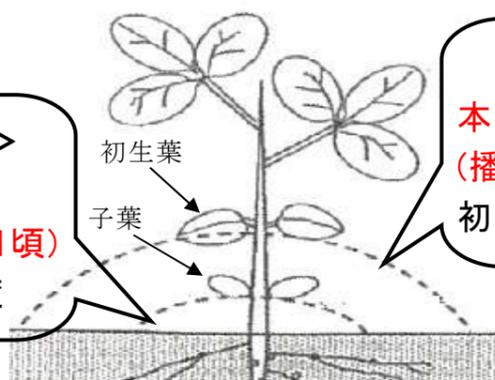
・**2回培土を確実に実施**し、雑草抑制し、初期生育を確保しましょう！
・培土後、発生している雑草の種類を確認し、**除草剤を適切に使用**しましょう！

1 培土

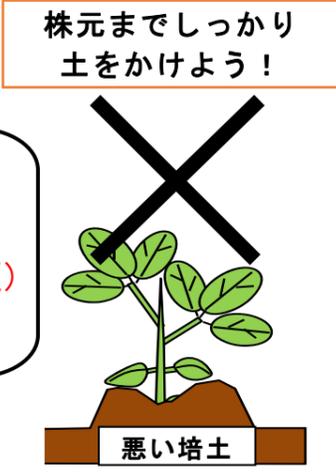
○**2回培土を確実に**行い、初期生育を確保するとともに雑草の発生を抑えましょう。

培土の効果(1石4鳥!)
・根域の拡大、根粒の増加
・雑草抑制
・排水の促進
・倒伏防止

培土<1回目>
本葉2~3葉期
(播種後20~25日頃)
子葉が埋まる程度



培土<2回目>
本葉4~5葉期
(播種後30~35日頃)
初生葉が埋まる程度



【培土作業のポイント】
◆作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう。
◆乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
◆培土でできた溝は、その日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、速やかに排水されるようにしましょう。



2 雑草防除

○雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。
○畦間処理をする場合は、吊り下げノズルを使用し、大豆にかからないよう十分注意しましょう。

表1 草種別除草剤

対象雑草名	薬剤名	使用時期	使用方法	10aあたり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草3~10葉期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200~300ml (水 50~100lで希釈)	1回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期~開花前 (雑草生育初期~6葉期) 但し、収穫45日前まで		薬量 100~150ml (水 100lで希釈)	
1年生雑草	パワーガイザー液剤	大豆出芽揃期~本葉3葉期まで (雑草発生始期~2葉期) 但し、収穫30日前まで	畦間・株間 処理	薬量 200~300ml (水 100lで希釈)	2回以内
1年生雑草	バスタ液剤 (非選択抑制除草剤)	本葉5葉期以降、雑草生育期 但し、収穫28日前まで		薬量 300~500ml (水 100lで希釈)	3回以内

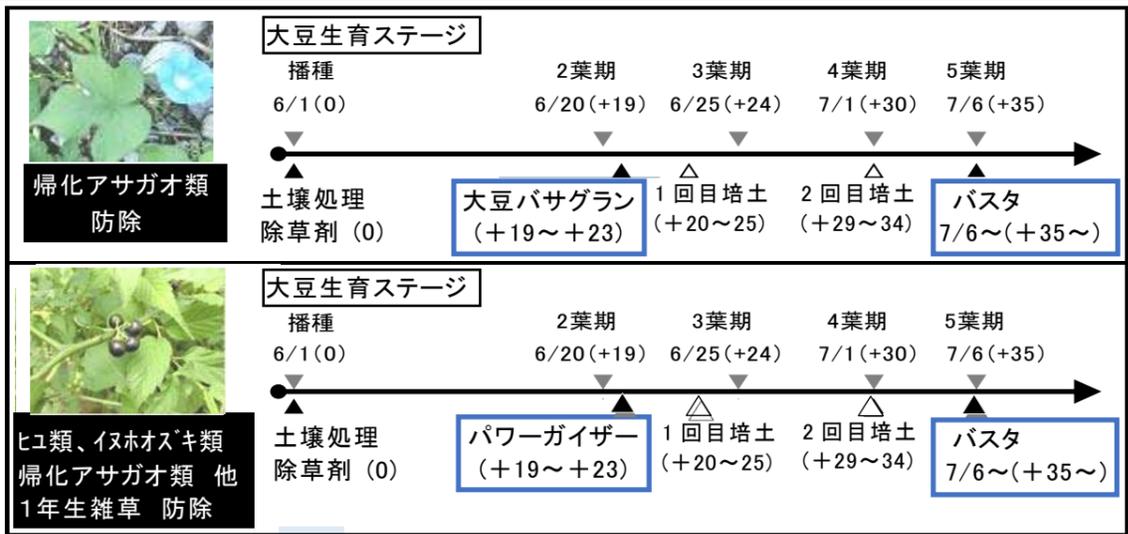
※周辺の作物に飛散しないよう注意

◎難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

管内では、近年、帰化アサガオ類や、イヌホオズキ類等の**難防除雑草の発生が増加しています!**

- 難防除雑草(帰化雑草等)の発生がみられたら、**雑草が小さいうちに手取り除草**又は**除草剤**で早めに防除しましょう。
- 抜き取った場合、株はそのまま放置せず、**ほ場外で適切に処分**しましょう。
- 刈り払う場合は、再生防止のために**地際から**行いましょう。

表2 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止体系



『守ろう農薬ラベル 確かめよう周囲の状況』
富山県農薬危害防止運動実施中! (4/13~9/14)

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★
<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> 富山農協 富山農情情報 検索

熱中症に注意!
適切な水分補給、こまめな休憩をしよう!